

【放牧・公共牧場】（鳥取県伯耆町 大滝放牧場）

- 平成11年度、高齢化や労働力不足を背景に町内農家や和牛部会から強い要請を受け、町営の大滝放牧場を設置。
- 開設から20年以上、繁殖雌牛30頭規模の放牧場において夏山冬里方式による肉用牛放牧に取り組んでおり、生産コスト削減や労力軽減に寄与。
- 近年では、放牧場管理組合の労働力不足が進み、ヨウシュヤマゴボウ、ワラビ、ノイバラ、チカラシバ等の強害雑草が繁茂。また、隣接する林地の間伐がされなくなると、松の幼木が放牧地内に侵入するなど、放牧地の牧養力低下や繁茂した有毒、有刺植物等による放牧事故発生が課題。
- このため、令和3年度～令和4年度に3.7haの草地改良に着手。令和5年度以降、順次、草地改良を進め、放牧頭数・放牧期間延長を図る予定。

<大滝放牧場の概要>

【開設】平成11年度（経過23年）
 【所有主体】伯耆町
 【管理主体】大滝放牧場管理組合
 【受入可能頭数】肉用牛30頭／日
 【利用農家戸数】8戸
 【放牧利用実績】平均13.4頭／日
 【放牧期間】5月中旬～11月上旬
 【利用料金】200円／頭・日
 【総面積】草地14ha、林地7.5ha
 【放牧場施設】

連動スタンション（32頭）
 牧柵4km（3牧区）
 飲水施設3箇所



管理組合では毎年掃除刈りを実施しているものの、1牧区（約2.5ha）の人力刈払作業に9名で5日間かかっており、農家の高齢化が進む中、労働力の確保が難しい。特に、ノイバラの除去に苦慮。



ワラビ



ノイバラ



ヨウシュヤマゴボウ



チカラシバ

●伯耆町の肉用牛戸数・頭数の推移

肉用牛繁殖	H20年度	R元年度	R2年度	R3年度
農家戸数	49戸	30戸	29戸	29戸
飼養頭数	448頭	411頭	424頭	431頭

●大滝放牧場の近年の利用状況

放牧実績	H28年度	R元年度	R2年度	R3年度
利用戸数	14戸	9戸	8戸	8戸
放牧頭数（日平均）	22頭	18頭	17頭	13頭

●令和3年度 草地改良（1.3ha※）

【従来工法】

人力で刈り払い
 ブルドーザー（耕起）
 バックハウ（石礫除去）
 施肥（馬糞散布）
 播種（センチピートグラス）

新技術導入実証

<マルチャー（新型フレールモア）>
 雑草・雑木を粉碎し、表層攪乱



●令和4年度の草地改良（3.7ha※）



2.4haの刈払作業が2時間程度で終了

【新技術の実証】

（春）掃除刈り、除草材散布、馬糞散布
 （夏）マルチャーで雑灌木等除去
 不耕起播種機で牧草（3種混）播種
 （秋）馬糞散布
 （今後）ワラビ等の強害雑草対策のため、
 2年間は年3回掃除刈りを実施予定

マルチャー導入へ

※一部作業面積の重複あり

●令和5年度～ （今後の方針）

順次、マルチャーを活用した草地改良面積を拡大し、開設当初の放牧頭数の増、放牧期間の延長により飼料費削減を目指す。